

子どもの姿		ねらい	行事	長時間保育	地域との関わり	自己評価
<ul style="list-style-type: none"> ・身のまわりのことを自分でするなど、自信をもって生活する姿が見られる。 ・自分の思いを伝えたり、相手の気持ちにも気づいたりしながら遊ぶ姿が見られる。 ・友だちと協力して遊び、アイデアや思いを取り入れている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・ひとりひとりの体調を把握しながら健康に過ごせるようにする。 ・進級をすることに期待を持ちながら生活をする。 ・季節の変化に気づき春の自然に興味関心を持つ。 	<ul style="list-style-type: none"> ひなまつり集会 1日 おはなし会 9日 避難訓練 13日 おわかれ会 15日 英語で遊ぼう 15日 卒園式 23日 	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症注意し体調の変化に気を付ける。 ・甘えや寂しさに寄り添い一緒に過ごす。 	<ul style="list-style-type: none"> ・戸外活動で一緒にいたり、行事のときなどに園に来たりした子どもと一緒に遊んだりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の身の回りのことは、率先して行い、できるようになった。 ・当番活動など、クラスの中での役割分担も把握して楽しく取り組んでいる。 ・進級に向けて、期待を持ちながらクラスの掃除などを子ども達と一緒にいながら、意識を高める事ができた。 ・クラス全体が落ち着き、穏やかに過ごせた。
内容		環境構成	保育士の配慮			取り組みの状況と保育士の振り返り
養護(生・情)教育(健・人・環・言・表)	<ul style="list-style-type: none"> ・手洗い・うがい・鼻をかむなどを自分で丁寧に言うよう声をかけたり、援助したりする。 ・身のまわりのことを自分でい、進級に向けて自信が持てるようにする。 ・戸外で体を十分に動かして遊ぶ。 ・ルールを守って遊ぶ楽しさを知る。(鬼ごっこ、中あてドッチボール、しっぽ取り、フルーツバスケット、いすとりゲーム等) ・自分の考えや思いを伝えたり、友だちの思いに気づいたりしながら遊ぶ。 ・異年齢児との交流を通して大きくなった喜びを感じる。 ・草木の芽吹きや暖かな日差しや風の温かさなどに気づき、春の訪れを感じる。 ・自分の思ったことを表現して、言葉のやり取りを楽しむ。 ・箱、紙、紐などさまざまな素材を使い、製作を楽しむ。 ・当番活動を意欲的に行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・室内の温度、湿度に留意し換気や暖房を行う。 ・子どもたちがやりやすい導線を考え、必要なものをあわせるべきところに準備しておく。 ・ゆっくりでも自分でやろうとする気持ちを認め、時間や場所に余裕を持たせる。 ・体をしっかり動かして遊べるような場所を確保し、必要な用具を準備しておく。(ボール、しっぽ等) ・友だちと一緒に遊びを考えたり、工夫したりできるコーナーや道具、玩具を用意しておく。 ・異年齢児との交流の場を設ける。 ・春の自然の変化が見つけれられる場所に出かける。 ・自分の思いを話すこと、友だちの思いを聞くことができるような場を設定する。 ・さまざまな材料、道具を準備する。(箱、紙、紐、セロテープ、マスキングテープ等) ・当番ができる仕事を準備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者も率先して手洗いうがいなど手本を示す。しっかり身につくよう声かけや援助する。 ・できたことを認め自信になるよう言葉かけなどを行う。 ・ルールのある遊びを通して友だちとの関わりをもてるようにする。 ・保育者と一緒に楽しむことで勝ち負けよりも、楽しむこと頑張ることの大切さを知らせる。 ・友だちと一緒に作り上げた喜びや、ごっこ遊びの楽しさが味わえるように、保育者が仲立ちをしたり声をかけたりする。 ・異年齢児との交流を通して進級への期待へとつなげていく。 ・春の訪れを感じ取らせるようにし、子どもたちの発見気づきを受けとめる。 ・話すこと大切さ、話を聞くこと大切さを知らせていく。 ・制作に必要なセロテープ、のり、ハサミの使い方をしっかり伝え、危険のないよう見守る。 ・手伝いがしやすいように配慮し、楽しく達成感ももてるようにする。 			<ul style="list-style-type: none"> ・戸外から戻ると自分で、手洗いをやっている。習慣は身につけているが、個々のペースがあるので、次の活動に支障にならない程度まで見守り、必要に応じて声をかけた。 ・暖かくなり、子ども同士での戸外遊びが充実している。ルールが今一つわからない子も他児と一緒にいけると少しずつ理解をして楽しめるようになってきた。 ・話を聞いたり、絵本を見るなど、集中して過ごす時間が長くなっている。 ・異年齢の関わりが多く、沢山の刺激を受けている。4歳児と一緒に遠い公園にも行く事ができていた。進級後も楽しい関わりを続けていきたい。 ・戸外に出て、季節の移り変わりを感じる事ができ、子どもたちといろいろな気づきや発見ができた。 ・手先を使った遊びも充実し、紙粘土の制作なども丁寧に形を作って装飾をしていた。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ひな祭り、お別れ会など、異年齢児と一緒に楽しい雰囲気の中で、食事を楽しむ。 ・クッキングに楽しんで取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・会食の意味を知らせ、楽しく不安にならないような、テーブル設定を考える。 ・慌てず、自分で身支度準備ができるよう、時間にゆとりを持って行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進級への期待へとつなげていく。 ・それぞれが楽しく、達成感ももてるよう援助していく。皆で味わい食べる。 			<ul style="list-style-type: none"> ・異年齢で戸外の食事や会食など、普段と違った雰囲気の中で楽しく食べる事ができていた。 ・食べる意欲が増え、おかわりをする子も増えている。食事に対する意識や食べられたという自信を一人ひとりが持てる様になった。